

アートプロジェクト

移動式縁側

「モバイル縁側（Mobile Engawa）」は、移動する空間として、移り変わりと集いの両方の役割を担い、市民が自身の建築的環境をあらためて想像し直すきっかけとなることを目指している。この移動式のインスタレーションは、千葉市内の公共空間を巡回し、市民が身の回りの環境について、遊び心を持ちながらも批判的な視点で考えるよう促す。参加者は「あなたが思い描く未来の千葉はどんな姿ですか？」という問いに対し、芸術的な方法で応答し、自らの想像をかたちにしていく。このプロセスを通じて、抽象的なアイデアは具体的な提案へと変換され、人と場所、制度や仕組みとの関係を深める対話の場が生まれる。市民は、単なる鑑賞者から、個人的な物語と集会的な想像を交差させる能動的な共創者へと変化する。インスタレーションは参加者一人ひとりの関わりによって日々進化していく。

Chaal.Chaal.Agency, with lead artists Sebastián Trujillo-Torres and Kruti Shah (コロンビア、インド)

チャール・チャール・エージェンシー（リードアーティスト：セバスチエン・トルヒージョ＝トーレス & クルーティ・シャー）

セバスチエン・トルヒージョ＝トーレス とクルーティ・シャーによって2017年に設立された、建築とアートの実践団体である。ムンバイとボゴタを拠点に活動し、アート、インフラ、アクティビズムの交差点を探索しつつ、デザインの民主化を目指している。参加型のツール、軽量のインフラ、大陸を越えたりサーチを通じて、グローバル・サウスにおける都市の未来像を再構築し、それを地球規模の想像力のテンプレートとして提示している。

市民参加のかたち：参加型展示鑑賞

